

令和3年度第1回認知症施策検討委員会議事録

日時 令和3年6月29日(火)

13:30～15:15

場所 高梁市役所3階大会議室

1. 開 会

あいさつ

【河本委員長】

アメリカで認知症の治療薬が条件付きで承認されたが、初期の人であれば効果があるかもしれないというものであるよう。そのため、引き続き認知症についての啓発を行い、みんなで優しく支えていくことが大切であると思う。

【石村所長】

緊急事態宣言が解除され、県内の1日の新規感染者数も一桁となっている。ワクチン接種に関して7月中旬から一般の方への接種が開始される予定。引き続き三密を避けて感染対策をしての活動をお願いします。

2020年の間で全国の高齢行方不明者が17,560人で過去最多となっており8年間で1.3倍に増加している。岡山県内の行方不明者が約300人、市内では1名が亡くなり、包括が把握したケースが6件となっている。

委員会では認知症サポーター養成講座ステップアップ講座の開催やチームオレンジの立ち上げ、市の施策の課題について協議をお願いします。

2. 自己紹介

(名簿のとおり)

3. 協議事項

1) 令和2年度の認知症関連施策事業及び認知症施策検討委員会の実績について

(別紙のとおり)

質問：位置情報サービス利用助成は実績0件だが、何か理由があるか。

→中山間地域のためGPSが圏外となる地域もあり、希望されないこともある。

2) 令和3年度の認知症関連施策事業計画及び重点活動について

(別紙のとおり)

3) 認知症サポーターステップアップ講座教材「ぼけますから、よろしくをお願いします」

一部鑑賞

【グループワーク：鑑賞しての感想、ステップアップ講座での活用の仕方について】

意見

- ・映画の続きが気になる。
- ・家族が傾聴し、怒らせないような支援をしていた。
- ・元主治医がなぜ来てくれたのかと思ったが、本人たちが信頼している人が来て良い表情

になっていた。

- ・ステップアップ講座で鑑賞する場合は、簡単に内容の説明をして、認知症の方へ対応についての視点を持ち鑑賞してもらってはどうか。
- ・途中で映像を止めて、グループで意見を出し合ってもらっても良いのではないか。
- ・認知症の方への対応の成功事例として使いやすいと思う。
- ・認知症の方の表情の変化に気付ける。
- ・認知症の方に関わる人が多い人と少ない人で見方が変わってくるだろう。
- ・映像を見て、何ができるのかという視点で見ることが大事
- ・グループで意見の違いを共有することが重要。

4) アルツハイマー月間の啓発活動について

【グループワーク】

意見

- ・寸劇は委員の人が出演者となって、シリーズ化してはどうか。
 - ・9月中は行政放送を1週目から4週目で行う。
 - ・9月だけでも認知症について知ってもらう機会となれば良い。
 - ・本に内容については明るい内容のものを推薦図書からピックアップする。
 - ・吉備ケーブルテレビをしっかりと活用する。
 - ・親子連れにも興味を持ってもらえるよう認知症サポーター養成講座とプラバン作成等と一緒にやる。
 - ・商業施設（ポルカ、イズミ）や金融機関等、人の出入りのある所へポスター掲示をする。
 - ・公用車にマグネットステッカーを貼る。
- 警察、消防でも可能かどうか。⇒消防は不可、**警察は15cm×15cm以内のものなら可**
- ・なぜロバか、オレンジ色なのかという疑問が出る。→手助けしますよとメッセージを入れておいてはどうか。

4. その他

- ・第2回認知症施策検討委員会について

日時：令和3年11月19日（金） 13：30～

場所：高梁市役所3階大会議室

5. 閉 会

【青木副委員長】

- ・年間の事業目標が一つずつでも形になり、当事者等が住みよい地域になるようそれぞれの方が協力していくことができればと思います。